

令和5年11月15日

TEL・FAX 0954-66-3113

発行責任者 江口 常雄



す 住 み よ い げん き な 緑 の 郷 大 草 野 の

第14回 会長杯グラウンドゴルフ大会

好天のもと、楽しく過ごせました！ (10月29日：日曜日)

屋外の行事を計画して、精神的に一番いいことは、雨の心配がないことです。昨年同様に今年も、天気に恵まれて大会を開催することができました。田中会長もグラウンドゴルフ大会の開会式挨拶は初めてです、いつもより少し緊張した声が広場に響いて、いよいよプレー開始です。

途中で、大会の開催に際してお祝いメッセージを寄せていただいていた大串衆議院議員が駆けつけ、祝辞をいただきました。そして、2ラウンド目に入ってしばらくして、出張中の村上市長に代わって早瀬副市長が到着、失礼ながら、しばらくゲームを見ていただき、閉会式の冒頭にご挨拶をいただきました。今回の優勝者は、五代区の森田修さんでした。森田さんは、防災広場の難コースで2回のホールインワンをされていて、お見事でした！

参加者が若干減ってしまいました。おそらく原因は市の文化祭との行事が重なっていることだと思いますので、来年の大会からは開催日程を少し調整したいと思います。

他のコミュニティでは、グラウンドゴルフ大会は驚くほどの参加者がいるようなので、改善できるところはしていきたいと思います。

また、来年の10月は国スポ2024開催の真っ最中になりますので、行事

日程を見直すいい機会になる

と思います。嬉野市にとって来年の国スポ開催はとても大きなイベントを担うことになり、大変忙しく重要な1年になると思います。前回の若楠国体の時に臨時職員として国体室にいた者の経験として、市職員の皆さんには、7種目も開催するのは、「これまでに経験したことがないことが起きる！」と、覚悟して臨んでほしいと思います。

大会成績 (順位・打数)					
順位	氏名	前半	後半	合計	行政区
1	森田 修	22	19	41	五代
2	二ノ瀬光夫	22	21	43	式浪
3	前田 綾子	20	26	46	南下
4	富永 宏史	25	22	47	万才
5	諸岡 良信	25	22	47	南下
6	村島 秀典	26	21	47	三坂
7	森 省三	24	24	48	五代
8	福田 廣和	23	25	48	万才
9	田口まちよ	24	24	48	南下
10	一ノ瀬 操	23	26	49	五代
敢闘賞	中川内和弘	31	33	64	長谷

ホールインワン賞			
氏名	行政区	回数	
森田 修	五代	2	
前田 綾子	南下	1	
西田 勝容	長谷	1	
福田 初枝	万才	1	
諸岡 良信	南下	1	



芋ほい 収穫体験学習できました！(10月27日:金)



当日は1時間目に収穫体験の予定でしたが、8時くらいになって小雨が降り出し、遠くでは、なにやら「ゴロゴロゴロ…」という音が聞こえてきました。雷まで鳴り出せば、危険回避です。すぐに降り止む予報でしたので、午後2時からに変更になりました。一昨年、もみ殻を大量に投入し、昨年はいい感じに掘り出すことができた芋が、今年はまだ土が固くなっていたので、前日に急遽応援



を要請して、スコップなどでの掘り起こしの作業となりました。無事に作業終了したのは16時頃、みなさん、ちょっとお疲れモードのようでした。そして、急遽呼び出された3人の区長さん、有り難うございました。お陰様で、当日は上の写真のようにワイワイと集まって、右の写真のような芋を掘り出すことができて、子ども達も大喜びでした。来年の実り多き収穫のために、今年もまた、もみ殻をたくさん投入して、土を柔らかくしておこうと思います。子ども達の笑顔を見るために、G達はやりますよ！

「健康づくり講座」を開催しました！<11月4日:土> 健康福祉部会

内容：「姿勢と肩こり (ちょっとだけ意識を高めて運動してみませんか?)」

コロナ禍がなんとか収束に向かい、医療機関でも外部からの要請に応じてもらえるようになり、やっと今回の健康づくり講座開催になりました。



今回講師を務めていただいた秀島聖尚理学療法士は、私とはもう15年以上の交流があり、みゆき公園テニスコートで開催されるニューミックステニスのサポートも最初から関わっていて、私が市役所時代にはスポーツ指導者や職員向けの講座などもお願いしていましたし、私自身も通院したときは秀島氏に手当をしていただいています。

今回の講座の内容は、日々の姿勢の中に肩こりの原因が潜んでいるので、それに気付くこと、ストレスが重なり痛みとなったときはどうするのか、などの対処法を話していただきました。それと、ちょっとだけ意識して自分の姿勢に注意するだけで、予防や

改善ができることなどを分かりやすく話されました。自分の体の機能や能力について正しい知識を身に付けて、できるだけ元気にいられるような取り組みをこれからも続けていけたらと思います。

〈編集後記〉

暗い中にもあかりが・・・
毎年ですが、十月は大きな行事が複数あって大変忙しく過ごします。正直なところ十一月に入り一息ついていきます。
ただ、世界の様子を見まわすと、あちこちに火の手が上がります、戦火に追われる人たちの阿鼻叫喚の聲に満ちています。
異人種、異文化、異宗教を認めない人は、どうやって現世を生き抜くことが可能なのでしょう？ 多様性とか共生と云う言葉などは、その人たちにとってはきつと意味不明の言葉なのでしょうね。
十月二十八日の佐賀新聞の広場、わかものコーナーに掲載された、龍谷高校二年生の松信明莉さんの「肌色」という投稿を読まれたでしょうか？ 言葉の豊富さ、文章の流れのスムーズさ、そしてその内容と構成力の素晴らしさ。
十六歳とはとても思えない表現力でした。絵を描かれていたとのことでしたが、多くの色に彩られた言葉は、まるで一編の詩を読んでいるかのように思え、とても感心しました。
人が勝手に決めてきた既存概念に対して疑問を持ち、その殻を破ろうとする若者の気持ちがよく表現されていました。一つの対象をしっかりと見つめ、深く考え尽くすこと、とても大切なことだと思います。
そんな若者たちを応援したいと思います。